

2006年高松宮記念杯観戦記

加来 浩

まず、フライトB～Fの結果から。
それぞれ優勝メンバーは以下の通りです。
(敬称略)

フライトB：Hein 賀子、小平邦夫、
宮崎昭夫、藤原良二
フライトC：西脇 透、細田博之、難波田愈、
能勢俊郎、北条旬、佐野久弥
フライトD：上田邦夫、海和文夫、秋田賢一、
上中幸代、吉見英哲
フライトE：中島千尋、名草俊比古、
山本隆夫、山口俊郎
フライトF：鍋島進、大石巖、大谷明、
鍋島あい子
おめでとうございます。

フライトA

序盤は例年になく？順当に上位シードが勝ち上がる展開。一部の上位チームがずば抜けてきているのか、それとも人材が少なくなってきたのかなどと思ったり。学生を卒業して約10年の我がチームが、毎年平均年齢最年少という状況がそろそろ変わって来られないか、その日が来るのはいつなのかなどと思いつつ。

さて、2週目の土曜日。^{おもて}表の決勝戦を争う2チーム、TAJIMAとNAITO。TAJIMAチームが65-32で勝ち、決勝戦の最初の席を確保する。その一方で、日曜日への参加資格を得るべく、まずはHANAとKYAZ。優(A)の数が多いチームの勝ち。

そしてもう1試合、海千山千チームと吉田勝チームからハンドを1つ。あなたはWでセカンドハンドのパートナーが1♣オープン。以下のようにビッドが進む。

♠ Q 9 4	W	E
♥ J 10		1 ♣
♦ J 9 7 4	1 ♦	1 ♥
♣ A 8 6 3	?	

1NTという、その後パートナーの3♣のビッドに展開が苦しくなり、最終コントラクトは3NT。

♠ Q 9 4		♠ K 7
♥ J 10		♥ A K 9 4
♦ J 9 7 4		♦ A
♣ A 8 6 3		♣ K 10 9 7 5 2

もう片方のテーブルでは、上記1♥までの流れは一緒に、2♣とWがビッド。その後、それほど苦もなく6♣に到着。♣がアンラッキーな形ではなかったため、容易に6メイク。この対戦は吉田チームが勝ち。

土曜日の夕方からは、日曜日への参加資格を得るべく、HANAチームと吉田チームの対戦が始まる。

次のハンドでパートナーが1♥でオープン。

♠ A J 3			
♥ A 10 5			
♦ A J			
♣ A 8 6 5 3			
W	N	E	S
	1 ♥	P	2 ♣
P	2 ♦	P	2 ♥
P	4 ♥	P	?

パートナーのシャットアウトビッドにも若干の未練をもち、4♠とキュービッド。パートナーのつれない5♥のビッドにパスを送ったところから話が始まる。

W	N	E	S
	1 ♥	P	2 ♣
P	2 ♦	P	2 ♥
P	4 ♥	P	4 ♠
P	5 ♥	P	P
Dbl	P	P	5 NT
P	P	Dbl	All pass

全く予定していなかった自分がプレーする
 コントラクトとなる。

◇9のリードが来て、ダミーが開く。

♠K
 ♥KQJ62
 ◇Q862
 ♣1042

OL:◇9

	N	
W		E
	S	

♠AJ3
 ♥A105
 ◇AJ
 ♣A8653

ダミーから小さいカードを引くと、右も小さいカードを出し、Jの勝ち。♣のブレイクはビッドから確認できているので(ダブルはライトナーダブル-♣要求)、♣でスローインして♠Jが勝つか、◇でスローインして♠Jが勝つか。正当なメイクチャンスを追求するのであれば♣の長い人が♠Qを持っている形を期待するのが確率が高い。

#21

ディーラ: N

NSバル

♠K
 ♥KQJ62
 ◇Q862
 ♣1042

	N	
W		E
	S	

♠97654
 ♥98
 ◇K109743
 ♣--

♠Q1082
 ♥743
 ◇5
 ♣KQJ97

♠AJ3
 ♥A105
 ◇AJ
 ♣A8653

◇Jが勝ち、◇Aをはがして、♥を5個キャッシュすると、実際のハンドは♣の長い人がディスカードに困るので、♠Jか♣の小さいカードがいずれは勝つ形。だったけれど…。

5NTダブルド1ダウン。裏は4♥メイク。

最終的なスコア(IMP)は引き分けで、トータルポイントで HANA の勝ち。筆者への誕生日プレゼントはもらえず。実は上記のコントラクト、ノンダブルなら1IMP筆者チーム(吉田チーム)の勝ち。ダブルはやはりドラマを生む。

さて、日が変わり日曜日。まず、残りの決勝戦の座を賭けて、NAITO と HANA。

	N	S
S		
♠AJ		2♣
♥AKQ1054	2◇	2♥
◇10	2♠	3♣
♣AK74	4♣	4◇
	4♠	6♣

パートナーのキュービッドで♠Kがわかり、勝負とばかりに6♣。

#2

ディーラ: E

NSバル

♠K10742
 ♥J3
 ◇86
 ♣8653

	N	
W		E
	S	

♠Q953
 ♥9862
 ◇AJ975
 ♣--

♠86
 ♥7
 ◇KQ432
 ♣QJ1092

♠AJ
 ♥AKQ1054
 ◇10
 ♣AK74

◇Aのリードが来てダミーが開く。正当なデキメは0%。続く◇をラフして♣Aをキャッシュすると、片方がディスカード。HAHAと笑うしかないが、もう一方のテーブルのコントラクトが3♥と知る由はない。これもブリッジ。前半は36対40と僅差の試合をするも、後半大差がつき、決勝戦のもう一つの席は、NAITO に。

決勝

TAJIMA：田嶋美津江、寺本直志、井野正行、今倉正史、陳大偉

NAITO：内藤佐紀子、天野亜矢子、宮国健次、清水康裕、田中陵華、原田智幸

TAJIMA と NAITO の再戦となった決勝は、いきなり土砂降り。

#1
 ディーラ：N
 双方ノンバル

♠ A J 10 3		♠ 7 5 4 2
♥ Q 10 9 3 2		♥ A J 4
♦ 4 3		♦ A K 10
♣ Q 10		♣ A K 7

♠ Q 6
 ♥ 8 5
 ♦ Q 8 7 2
 ♣ 9 8 5 3 2

オープンルームでは、Eのストロング1♣からリレーが始まる。ビディングスペースには余裕があったが、必要な絵札に余力なしと判断し、最終コントラクトは4♠。

クローズドルームでは、ナチュラル1♣オープンから始まり、

W(陳)	E(寺本)
	1♣
1♥	2NT
3♦	4♥
4♠	5♣
5♥	6♥

4♠はキュービッドで、パートナーのハンドが理想的ならばスラムが出来るかもといったところか。♦Kが♥Kになるとか。いずれにしても最終コントラクトは6♥。必要な絵札は最低限しかないが、それをミドルカードが辛うじて支えている。6♥をプレーするサイドにとっては都合のよい形、ディフェンスするには都合の悪い形になっていたため、ややラッキーな11IMPがTAJIMAに。

#3
 ディーラ：S
 EWバル

♠ K 10		♠ 9 7 6 5 2
♥ K 9		♥ 8 4 3 2
♦ J 10 7 3		♦ A
♣ Q 9 6 4 2		♣ J 10 3

♠ Q 8 4 3
 ♥ A Q 5
 ♦ K 9 8 2
 ♣ K 5

コントラクトはNSの3NTだが…。

クローズドルームでは(NS清水-宮国)強い方(S)の3NT。♣のリードが来て、10をKで勝つ。2トリック目の候補は、黒いスート(♠)の3か、赤いスート(♦)の892。♠を出せばこの形はWが困る形になるのだが、大きい数字を出したので、メークチャンスはなくなった。

オープンルームは弱い方(N)の3NT。♣リードをすればプレー勝負になったのだが、Wはテンポを助ける♠リード。2トリック目に♦を出し、ディフェンダーのダウンチャンスはなくなった。11IMPが再びTAJIMAに。

7番ボードで14IMPが再びTAJIMAに動き、この時点で39-0。

#13
 ディーラ：N
 双方バル

♠ 2		♠ 8
♥ K J 10 9 8 5 2		♥ --
♦ 8 5 3		♦ A K Q 2
♣ 8 4		♣ A K Q 9 7 5 3 2

♠ A Q J 7 6 5 3
 ♥ 6 4
 ♦ 9 7 4
 ♣ 6

オープンルーム

W	N	E	S
田中	井野	原田	今倉
	P	1 ♣	3 ♠
Dbl	4 ♠	6 ♣	All pass

クローズドルーム

W	N	E	S
陳	清水	寺本	宮国
	1 ♠	6 ♣	6 ♠
P	P	Dbl	All pass

強い手が何度もビッドできる保証はない。6 ♣のプレーは、♣を1回取った後は、♠を3回キャッシュする。途中でラフされる時には正当にはメークしないコントラクト。全員がフォローすればドロートランプしてクレーム。どちらかがフォローしなくても、ラフできないときには、最後の♠をダミーでラフして出来上がり。8-2フィットのトランプでもこういう形になることがある。

#15

	♠--	
ディーラ: S	♡ J 10 9 7 6 4	
NSバル	♠ 7 4 3	
	♣ A J 10 4	
♠ K 8		♠ A 7 5 3
♡ A K 8 5 3		♡ Q 2
♠ Q		♠ A J 9 8 6
♣ K Q 9 6 3		♣ 7 5
	♠ Q J 10 9 6 4 2	
	♡ --	
	♠ K 10 5 2	
	♣ 8 2	

オープンルーム

W	N	E	S
田中	井野	原田	今倉
		2 ♠	
4 ♣	P	4 ♠	P
4 ♠	Dbl	Rdbl	All pass

これもブリッジ。4NTとビッドすると、メークはしないがマイナスの数字が1桁減る。

トランプリードから始まり、コントラクトは3ダウン。クローズドルームではSの♠のコントラクトが捕まり合計18IMPがTAJIMAに。

最後のボードで12IMPを取り返したものの、TAJIMAチームが30IMPのリードで後半に。

後半、最初のボードで、NAITOのEWに事故が発生し、14IMPがTAJIMAに。

その後5IMP級の数字が数ボードずつならば、TAJIMAの40IMPリードの状態で残り5ボード。

#28

	♠ 10 9 7 6	
ディーラ: W	♡ A K 9 8 6 2	
NSバル	♠ --	
	♣ Q 6 2	
♠ Q 5 2		♠ K J 8
♡ 10		♡ --
♠ K 9 8 7 5 3		♠ A Q J 4 2
♣ K J 10		♣ A 9 8 5 3
	♠ A 4 3	
	♡ Q J 7 5 4 3	
	♠ 10 6	
	♣ 7 4	

オープンルーム

W	N	E	S
田中	井野	原田	今倉
2 ♠	2 ♠	4 ♠	5 ♠
P	P	6 ♠	All pass

クローズドルーム

W	N	E	S
陳	清水	寺本	宮国
P	P	1 ♠	P
2 ♠	2 ♠	4 ♠	P
5 ♣	P	6 ♠	All pass

ともにコントラクトは6♠。♠AがSにあることがわかった状態で、♣Qのゲス。独身にはお姫様をつかまえることは難しいようで、クローズドルームは1ダウン、14IMPが

NAITO に。

#30	♠ K 6
ディーラ: E	♥ K Q 9 7
双方ノンバル	♦ K 4 3
	♣ K 9 4 2
♠ Q 10 8 2	♠ J 5 4
♥ 8 6 5 4	♥ 3 2
♦ 9	♦ Q 10 8 7 5 2
♣ Q J 8 5	♣ 10 6
	♠ A 9 7 3
	♥ A J 10
	♦ A J 6
	♣ A 7 3

コントラクトは TAJIMA は 6 N T で、NAITO が 4 N T。ともに 11 トリックを取り、NAITO に 11 I M P が入り、残り 2 ボードでその差は 15 I M P に。

ちなみに、6 N T だが 1 トリック目に♦の A が勝ち、♥を 3 回取った後(4-2 ブレークがわかり、短い方は♦をディスカード)に♣をダック。♣の 3-3、もしくは♠とのエクストラチャンス。実際の形は、♠を 1 回ダックしておく、黒いスーツの純正スクイーズになりコントラクトはメイクした。

#31	♠ 8 4
ディーラ: S	♥ Q J 10 8 5
N S バル	♦ 3
	♣ K 9 7 5 4
♠ A J 9 5 2	♠ Q 10 6
♥ 7 4 3	♥ A K
♦ J 7 5 2	♦ 10 8 6 4
♣ 2	♣ J 10 6 3
	♠ K 7 3
	♥ 9 6 2
	♦ A K Q 9
	♣ A Q 8

TAJIMA は♥が長い方(N)がプレーする 4 ♥。♠リードはノーチャンスだが、OL は♣6。絵札を出して、ダミーの勝ち。♦で♠を

ディスカードした後、トランプを出す。その後パンプが間に合い、1 ダウン。

NAITO は強い方(S)がプレーする 4 ♥。♥リードはノーチャンスだが、OL は♣2。プレーするサイドはよかったが、ブレークが悪くて 1 ダウンでプッシュ。

最後のボードもプッシュで TAJIMA チームの勝ち。おめでとうございます。